



議会だより



市議会
ホームページ

発行 鎌ヶ谷市議会
 編集 議会だより編集委員会
 〒273-0195
 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷二丁目6番1号
 電話 047(445)1191(直通)
 FAX 047(445)2053

URL <https://www.city.kamagaya.chiba.jp/gikai/index.html>



保育室



大型木製遊具



鎌ヶ谷市東部児童センター 開館式

徳田社会福祉協議会会長

中村議長

芝田市長

矢崎教育福祉
常任委員会委員長

菅野自治会
連合協議会会長

鎌ヶ谷市東部児童センター開館式が挙行されました。(3月18日)

令和6年度予算を可決

令和6年度一般会計予算のつかわれ方

令和6年度特別会計予算

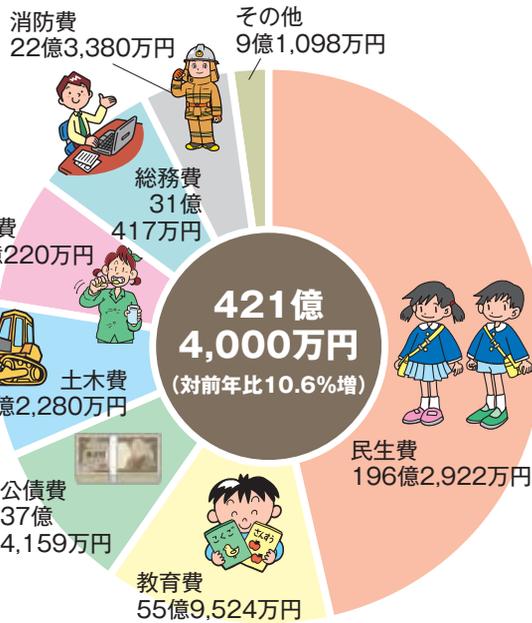
国民健康保険
104億2,500万円
(対前年比4.5%減)



介護保険
97億4,600万円
(対前年比1.7%増)



後期高齢者医療
18億9,000万円
(対前年比10.5%増)



令和6年度 公営企業会計予算

下水道事業
収入
31億4,719万円
支出
36億5,648万円



※収入が支出に対し不足する分は、減価償却費等で補填

- 予算編成のポイント
- 1 「みんなでつくるふるさと 鎌ヶ谷」をめざして
 - 2 社会保障費(扶助費)の財源を優先的に確保
 - 3 公共施設長寿命化に向けた改修促進
 - 4 脱炭素化の推進
 - 5 デジタル化の推進
 - 6 物価高騰対策の取組

3月会議では、市長から提出された議案20件、議員が提出した発議案2件について審議しました。可決した議案は、鎌ヶ谷市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてなどです。

なお、令和6年度一般会計予算をはじめとする5会計の当初予算案は、委員9人からなる予算審査特別委員会を設置して審査し、本会議において審査の経過と結果を委員長が報告した後、採決の結果、原案のとおり可決しました。

(審議の結果は4面に掲載)

3月会議

令和6年度一般会計予算をはじめとする5会計の当初予算を可決しました

国に意見書を提出しました

訪問介護基本報酬の引下げを行わないように求める意見書を可決し、国の関係機関に提出しました。

内容は、地域の在宅介護を支えてきた小規模な訪問介護事業所が健全で安定した運営ができるよう、訪問介護基本報酬の引下げを行わないことを求めるものです。

鎌ヶ谷市議会議員の請負の状況の公表に関する条例を制定しました

地方自治法の改正に伴い、議員個人による市との請負に関する規制が緩和されたことを踏まえ、議会運営の公正及び事務の執行の適正を図ることを目的に、議員の個人による請負の状況の透明性を確保するため、必要な事項を定めています。

3月会議日程

2月22日(木)	開議
	会議期間の決定
	議案の提案説明
	議案1件の質疑・採決
25日(日)	お知らせ号発行
28日(水)	議案に対する質疑
29日(木)	総務企画常任委員会 都市・市民生活常任委員会
3月1日(金)	教育福祉常任委員会
4日(月)	予算審査特別委員会
5日(火)	予算審査特別委員会
7日(木)	一般質問
8日(金)	一般質問
11日(月)	一般質問
12日(火)	一般質問
15日(金)	委員長報告 発議案の提出 質疑・討論・採決

5月会議は5月下旬を予定しています

市政に関する一般質問

3月会議は20人の議員が質問

北初富駅南側の交差点、国道464号と市道28号線の交差点部分について

針貝 和 幸 議員

北初富駅南側の交差点は道幅が狭く危険な状況であるが、歩行者だまりや右折レーンなどの整備予定について伺います。

歩行者の安全や円滑な交通を確保するために歩行者だまりや右折レーンが必要であるため、関係機関と協議し、交通量などの必要な調査を踏まえ、交差点の機能確保について検討していきます。

東道野辺三丁目地区における地域排水整備について

勝 又 勝 議員

当該地区の冠水被害について市の認識を伺います。

宅地化が進み、雨水浸透力の低下などにより市道3826号線のくぼ地部分などで雨水が集中し、浸水被害が発生しています。

本市における防災・減災対策について

矢崎 悟 議員

避難所となる体育館の空調設備は、被災者の命を守る上で重要だと、議会でこれまで取り上げてきましたが、市の整備計画を伺います。

小中学校体育館は、令和10年度までの予定で毎年度3年度まで完了予定です。

北初富駅周辺の整備に伴う歩道等の通行困難な現状と今後の対策を問う

津久井 清 氏 議員

北初富駅周辺の歩道等の現状に対する市民からの苦情や要望について、市の認識を伺います。

主に「歩道が狭く危ない」「渋滞がひどい」等18件の要望が寄せられており、市では駅周辺における安全で歩きやすい歩道整備を目指していきま

ます。

市道3361号線跡地は民有地のため地権者により土地活用が図られるものと考えますが、交差点の改良や歩行者空間の確保などを検討していく上で、用地のご協力をいただく可能性があることから計画を検討していく中で見極めたいと考えています。

この地区における今後の排水整備について伺います。

令和6年度に実施する準備設計等の結果を見極めた中で、浸水被害の解決に向けた整備計画を策定し、詳細設計や地域排水整備工事を実施していきます。

災害関連死の死者数は、地震で命を落とした人の4倍の報道があります。市の今後の対策を伺います。

災害関連死は高齢者のリスクが高いため、その防止対策は重要であり、避難所環境の改善や運営面での対策について、他市の先進事例を参考に検討していきます。

歩道幅などを検討していく中で見極めていきます。

駅前交差点の復旧後、自動車渋滞が特にひどいため右折レーンの新設についての市の認識を伺います。

右折レーンの必要性を認識しており、今後、関係機関とも協議しながら交差点改良に向けて取り組みます。

子どもの「居場所」づくりについて

佐藤 剛 議員

放課後児童クラブと放課後子ども教室の違いを伺います。

本市の放課後児童クラブは、共働き家庭の小学生を対象とし、月額利用料及びおやつ代が必要となり、開設は19時までですが、近隣の放課後子ども教室は、無料又は低額でどなたでも利用でき、開設は17時までとなります。

放課後子ども教室の整備に関する見解を伺います。

空き教室の不足や児童センターの充実により、放課後子ども教室の実施には至っていませんが、今後、こどもの

大規模災害時の対応について

泉川 洋二 議員

国のガイドラインでは、福祉避難所を指定福祉避難所に指定し、対象者の直接避難の促進が示されていますが、市の取組状況を伺います。

指定避難所への避難後に避難者の状態や避難生活の状況を判断し、受入れ可能人数などを調整の上、福祉避難所を開設することから、現在のところ指定福祉避難所に指定した施設はありませんが、今後、指定に当たり、諸条件を

整理しながら検討します。

福祉避難所の設置について、市の見解を伺います。

福祉避難所は、指定避難所での避難生活に困難が生じる高齢者、障がい者などに対する特別の配慮のため、指定避難所内に必要に応じて開設するもので、災害時における要配慮者の不安を取り除くための具体的な取組であることから、今後、他市の事例を参考に検討していきます。



今後の行政改革のために現在の鎌ヶ谷市議会における議員定数について

水町 元大 議員

市議会議員の定数の変遷について伺います。

市制施行の昭和46年は、法定議員定数30人に対し、議員数は26人、昭和50年には、都市化の進展に伴う人口増加を踏まえ30人、平成7年に、国市議会議員定数の調査結果で

いじめ・ネットトラブル防止の取組について

鈴木 哲也 議員

文部科学省の「不登校・いじめ緊急対策パッケージ」では、1人1台端末を活用して、児童生徒の心や体調の変化を把握し、メンタルの悪化や児童生徒が発するSOSの早期発見につなげる心の健康

「生涯現役社会」に向けたシニア向け施策について

山中 優宏 議員

アンケート調査から、シニア向けの就労支援が生きがい創出の上で重要だと考えますが、市の見解を伺います。

高齢者の豊富な知識や経験を生かせるよう、無料職業紹介所わくプラザ鎌ヶ谷の利用促進やシルバー人材センターとの連携強化を図っていきます。また、ボランティア活動や生涯学習、スポーツ活

人権への取組について

河内 一朗 議員

市職員への人権の啓発はどのように行っていますか。

人権サミットや人権ユニバーサル事業などに参加しています。今後は、パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度の策定作業の一環として、庁内検討会議の開催や関

は、松戸市44人、柏市36人、流山市28人、野田市28人、我孫子市24人となります。

今後の市議会の在り方や展望について伺います。

議員定数のあり方などは人口減少や少子高齢化などの様々な課題を見据え、議会が主体となり議論するものになるのかと考えています。

児童生徒の様子を確認している学校や端末を使わず連絡帳等により確認している学校もあることから、児童生徒の心や体調の変化をより早く発見し、効果的な手立てを取ることができるようアプリも含め導入している他の自治体の状況などについて、今後、調査研究していきます。

万人として健康寿命が1年長くなれば、単純計算で年間30億円以上の医療費の抑制に寄与することとなります。



いて通知し、理解の促進を進めています。また、今後さらに活用の強化及び研修に努めていきたいと考えています。また、児童会や生徒会の活動などでは、主体的に活動する場や意見を表明する場を確保するよう継続して指導していきます。



江戸川左岸流域関連公共下水道事業について

森谷 宏 議員

江戸川左岸処理区管渠基本設計業務委託の具体的な対象区域を伺います。

業務委託範囲は、東道野辺四丁目から七丁目、南鎌ヶ谷一丁目から四丁目、鎌ヶ谷六丁目から九丁目、丸山三丁目となります。

多文化共生社会について

葛山 繁隆 議員

外国人が生活の課題や必要な情報について相談ができる窓口の体制について伺います。

市では外国籍の方も地域の一人として共に生活できる多文化共生社会の実現を図るため、外国人市民向けの相談

北千葉道路地下化による費用・便益比較について

伊藤 仁 議員

北千葉道路地下化によりどのような便益の変化があるか伺います。

道路の整備に伴う効果は金銭表現が可能である走行時間の短縮、走行経費の減少、交通事故の減少について、そ

中学校の部活動の地域移行について

伊福 幸一 議員

部活動地域移行に伴う保護者の費用負担に対する見解を伺います。

外部人材の人的費用や運営に要する管理費等の継続的な予算確保の課題が想定されることから、持続可能な運営を行うため、受益者負担も含めて部活動地域移行協議会で協議するとともに、経済的な支援についても併せて検討して

線の見直しを含めた検討を進めます。

事業計画の拡大に関する千葉県との協議をどのように進めますか。

千葉県流域下水道計画との整合性を図るための協議を進めるとともに、事業計画区域の拡大に向け区域の範囲や事業期間などを検討していきます。

11月体制について伺います。

各学校の子どもの実態と要望に合わせ、音声翻訳機を常備し、日本語指導が必要な児童生徒に対し、言語の違いによる暮らしの難さを解消していきます。また、保護者には、学校からの連絡などに読み仮名を振ることや、直接話を聞く際には音声翻訳機などを活用していきます。

北千葉道路の整備促進に向けた取組について

小易 和彦 議員

北千葉道路沿線土地利用整備構想策定に向けて、千葉県や沿線自治体との連携をどのように進めていきますか。

千葉県では新たな産業、地域づくりに関し、将来の産業の誘致創出を図るため、北千葉道路沿線等の経済を牽引していくことが期待される地域を対象に、産業、地域づくりに関する現状、民間投資に関する分析、民間事業者等の動向把握の調査を実施しています。市では千葉県の調査結果等を踏まえながら、北千葉道路の今後の事業化を見据え

が、部活動地域移行後の活動に適切に参加できるよう協議していきます。

こどもまんなか社会の実現に向けた本市の取組について

富田 信恵 議員

総合福祉保健センターに分館が整備されると、子育て支援の体制にどのような変化があるのか伺います。

令和8年度までに運用開始予定の総合福祉保健センターの分館には、子育て関連部署を中心に移転を予定していますが、子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点をひとつの組織にする「こども家庭センター」の機能も踏まえ、相談窓口や設備等を検討していきます。

こども大綱に示されている「こども計画」や「こどもまんなか社会」の実現に向けた本市の考えを伺います。



総合福祉保健センター

介護保険制度について

松原 美子 議員

介護保険料基準額の推移を伺います。

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき3年ごとに見直しを行ってきましたが、制度発足の平成12年度の第1期は2千840円で、令和6年度からの第9期は6千円となり、24年前の第1期と比較し、額で3千160円、率で11.3%の増となります。

介護保険サービス利用料の自己負担割合の推移を伺います。

制度開始の平成12年度は所得や資産によらず一律1割負担でしたが、平成27年8月からは年金収入等が年280万円

防災対策等について

寺本 真理 議員

能登半島地震における対口支援(※2)の内容を伺います。

珠洲市へ職員5人を派遣し、被災地支援により得られた貴重な経験を職員全体で共有し、市民にも伝えられるよう動画配信をしています。

災害時協力井戸の役割について伺います。

災害などの断水時に井戸水を無償で提供いただくもので、令和6年2月末時点の登録は約450件です。

大規模災害の際、円滑な罹災証明書の発行をどのように行いますか。

他の自治体からの応援職員も迅速に証明書が発行できるように国の統一様式に見直すことや、被害が軽減なもの一部損壊が確認できる写真により証明書を発行できる自己判定方式の導入を予定しています。

自主防災組織の拡大に向けた今後の取組を伺います。

新たな補助制度の検討や地域の防災リーダーを育成する研修を実施する予定です。

空調設備設置工事等で使用が制限される小中学校の体育館及び福太郎アリーナについて

後関 俊一 議員

小中学校の体育館及び福太郎アリーナの今後の工事概要を伺います。

体育館利用時の暑さ対策や災害時の避難所運営における環境整備のため、小中学校の体育館14施設、中学校の柔剣道場5施設及び福太郎アリーナは、令和6年度に空調設備の設置や変電設備改修工事、LED照明改修工事、トイレ改修工事を行います。

令和6年度以降の空調設備設置のスケジュールを伺います。

福太郎アリーナは、令和7年度までに空調設備の設置をはじめ4件の改修工事等を行います。また、小中学校の体育館の空調設備は、令和6年度に鎌ヶ谷、南部、道野辺小学校を、7年度に鎌ヶ谷、第二、第五中学校を、8年度に、中部小学校、第三、第四中学校への設置のほか、東部初富、五本松小学校への実施設計も予定しています。

本市の教育について

徳野 涼 議員

教員の残業の状況及び長時間労働の要因を伺います。

令和5年度1月までの月平均残業時間は、小学校で41.3時間、中学校で50.8時間ですが、自粛していた学校行事の再開にあたり、コロナ禍前の状況を知らない教員の増加による行事の作り直しや中学校での部活動指導がその一因です。

休日の部活動指導の負担軽減について伺います。

千葉県では、休日の部活動指導については、特殊勤務手当として、2時間以上4時間未満の指導で1千800円、4時間以上で3千600円、大会等の引率で5千100円としています。

部活動指導の負担軽減に向けた取組を伺います。

朝練習の縮小や廃止、複数の顧問の配置による負担軽減を図っているほか、令和8年度までに、部活動地域移行を目指しています。

介護保険制度について

松原 美子 議員

介護保険料基準額の推移を伺います。

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき3年ごとに見直しを行ってきましたが、制度発足の平成12年度の第1期は2千840円で、令和6年度からの第9期は6千円となり、24年前の第1期と比較し、額で3千160円、率で11.3%の増となります。

介護保険サービス利用料の自己負担割合の推移を伺います。

制度開始の平成12年度は所得や資産によらず一律1割負担でしたが、平成27年8月からは年金収入等が年280万円

防災対策等について

寺本 真理 議員

能登半島地震における対口支援(※2)の内容を伺います。

珠洲市へ職員5人を派遣し、被災地支援により得られた貴重な経験を職員全体で共有し、市民にも伝えられるよう動画配信をしています。

災害時協力井戸の役割について伺います。

災害などの断水時に井戸水を無償で提供いただくもので、令和6年2月末時点の登録は約450件です。

大規模災害の際、円滑な罹災証明書の発行をどのように行いますか。

他の自治体からの応援職員も迅速に証明書が発行できるように国の統一様式に見直すことや、被害が軽減なもの一部損壊が確認できる写真により証明書を発行できる自己判定方式の導入を予定しています。

自主防災組織の拡大に向けた今後の取組を伺います。

新たな補助制度の検討や地域の防災リーダーを育成する研修を実施する予定です。



(※1)管渠：汚水を集めて終末処理場などに導くための管をいう。
 (※2)対口支援：被災市区町村を1対1で担当する団体が、自己完結的に支援を行うこと。

議案に対する質疑

各会派の代表者が市長の提出議案に対して、質疑しました

政友会 針貝 和幸

議案第2号

○議案第2号 条例改正の経緯を伺います

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律や関連する法令が改正され、個人番号の利用及び情報連携について、新規で必要とされる機関間の情報連携のより速やかな開始が可能となることや健康保険証とマイナンバーカードの一体化があったことから、条例に基づく福祉医療関係の独自助成等に係る事務において、健康保険証による受給資格の確認の際、情報提供ネットワークシステムを使用し、個人番号の情報連携を行う必要がある、重度心身障がい者(児)医療費助成の事務を定める必要があったため改正するものです。

○議案第3号 子育て部分休暇を新設した背景及び制度概要を伺います

国の少子化対策として令和5年6月に策定されたことも未来戦略方針の中で、育児休業制度自体を多様な働き方に対応した自由度の高い制度



インターネット議会中継を配信しています

市議会では開かれた議会を目指し、本会議の様相を生中継及び録画中継により配信し、市議会のホームページからご覧になれるようにしています。

鎌ヶ谷市議会のホームページアドレス及び二次元コードは1面に掲載しています。

公明党 小易 和彦

議案第9号

○議案第9号 介護事業所等における身体拘束の適正化の見直しの内容を伺います

従来から高齢者虐待防止法等の規定により、生命または身体を保護するための緊急やむを得ない場合を除き、身体拘束は禁止されてきましたが、この緊急やむを得ない場合において、具体的な対応を明確化するため、その対応、時間や理由などの記録、身体拘束の適正化を検討する委員会の設置、指針の整備、研修の実施などを新たに義務づけたものです。

立憲民主党 河内 一朗

議案第8号

○議案第8号 介護保険料の今後の見通しを伺います

介護保険料は、国による地域包括ケア「見える化」システムを活用し、3年ごとに高齢者人口及び要支援・要介護認定者数の推計値に介護報酬の改定などを加味して、各介護給付サービスに必要な費用を推計し、全体の合計額に

未来会議 伊藤 仁

議案第6号

○議案第6号 保育園等の運営に係る重要事項について、施設への書面掲示の義務付けのほか、インターネットを利用した公衆の閲覧に供することを追加した理由を伺います

国は、デジタル化を推進するため、令和3年11月にデジタル臨時行政調査会を設置し、令和4年6月にデジタル原則に照らした規制の一括見直しプランを策定しています。

予算審査特別委員会

令和6年度鎌ヶ谷市一般会計、3特別会計及び1事業会計予算について審査を行いました

一般会計についての主な審査内容は次のとおりです。

○(総括) どのようないで予算編成に臨んだのか伺います。

○北千葉道路の事業化を見据え、注目が高まるこの時期に、未来につながる投資を行うという強い決意をもって臨み、東京10号線延伸新線跡地の取得や小学校1年生の給食費無償化など、企業進出や子育て世帯等の増といった地域の活性化や税収入の増につながるものと考えています。



中学校部活動地域移行事業の今後の事業見直しについて伺います

令和6年度は、各中学校の部活動の中の1つを、部活動指導員が土曜日または日曜日に実施する部活動に移行することを目指しています。

また、令和7年度以降は、部活動地域移行協議会において、中学校における部活動の段階的な地域移行の方向性を決定していきます。



東京10号線延伸新線跡地

(歳入)

○徴収率の向上に向けた取り組みについて伺います

納税環境の整備として、ウェブでの口座振替受付サービスの継続や市県民税特別徴収及び法人市民税への督促状等に地方税統一の二次元コードを導入することによる納付機会の拡充、さらに、徴収業務では、給与等の差押えやインターネット公売等の滞納処分を行い、徴収率の向上に努めていきます。

(歳出)

○ファイターズ連携強化事業の一環となる鎌ヶ谷デーの事業概要を伺います

市民を対象に、エスコンフィールド北海道での観戦ツアーを実施する予定であり、スタジアムツアーや小学生限定で試合開始を宣言するプレールキッズなどの参加者特典があります。

予算審査特別委員会委員

委員長	大野 幸一
副委員長	勝 又 勝
委員	徳 野 涼
委員	伊 福 幸 一
委員	富 田 信 恵
委員	寺 本 真 理
委員	後 関 俊 一
委員	河 内 朗
委員	泉 川 洋 二

令和6年3月会議の審議結果一覧

議案番号等	件名	審議結果	議案番号等	件名	審議結果
議案第1号	令和5年度鎌ヶ谷市一般会計補正予算(第9号)	原案可決 全会一致	議案第10号	鎌ヶ谷市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第2号	鎌ヶ谷市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 賛成多数	議案第11号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第3号	鎌ヶ谷市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致	議案第12号	令和5年度鎌ヶ谷市一般会計補正予算(第10号)	原案可決 全会一致
議案第4号	鎌ヶ谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致	議案第13号	令和6年度鎌ヶ谷市一般会計予算	原案可決 全会一致
議案第5号	鎌ヶ谷市ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致	議案第14号	令和6年度鎌ヶ谷市国民健康保険特別会計予算	原案可決 全会一致
議案第6号	鎌ヶ谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致	議案第15号	令和6年度鎌ヶ谷市介護保険特別会計予算	原案可決 全会一致
議案第7号	鎌ヶ谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致	議案第16号	令和6年度鎌ヶ谷市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決 賛成多数
議案第8号	鎌ヶ谷市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 賛成多数	議案第17号	令和6年度鎌ヶ谷市下水道事業会計予算	原案可決 全会一致
議案第9号	鎌ヶ谷市指定介護予防支援事業者の指定の要件並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決 賛成多数	議案第18号	準用河川二和川バイパス整備(第9期)工事請負変更契約の締結について	同意 全会一致
			議案第19号	権利の放棄について	同意 全会一致
			議案第20号	鎌ヶ谷市市道路線の認定及び廃止について	原案可決 全会一致
			発議案第1号	鎌ヶ谷市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について	原案可決 全会一致
			発議案第2号	訪問介護基本報酬の引下げを行わないように求める意見書	原案可決 全会一致

(お知らせ) 次の議会だよりは、臨時号を6月10日(月)発行予定です